

トラック運送業界とSDGs

エスディーズ

第14回

持続可能なトラック運送業界の実現を目指して

島根県トラック協会浜田支部「浜田トラックSDGs」

本特集では、SDGs(持続可能な開発目標)とトラック運送業界の…支部(大向寛支部長)の取り組みについて紹介しています。

SDGs目標達成期限2030年に向けて取り組みを開始

島根県トラック協会浜田支部は、島根県浜田市(浩司支部長) 会員企業7社(広芸運輸(株)、浜田港運(株)、(株)坂本運送、(株)町運送、島根産業(株)、(株)山平運送、(株)高原運送)への取り組みは、大向ととも、令和5年12月6日に「SDGs宣言」する島根県トラック協会青年経営者協議会浜田支部(上野) 受講したことを端を発す



共同SDGs宣言書を手にする、高原兼司副支部長(左)と高田賢治(右) 共同SDGs宣言書授受後

浜田支部では、トラック運送業界を取り巻く深

く、労働不足に直面する中で、業界の労働力不足への対応について検討していた。検討の結果、トラック運送業界の地位向上を図る観点から、各会員事業者の企業価値向上に繋がるSDGsの有用性に着目し、取り組みを進めることを決めた。

事業継続に欠かせない「存在意義の明確化」

ドライバー目線で取り組みを具体化

SDGsの取り組みを進めるにあたっては、どのように実効性を高めていけばよいかが大きな課題となった。そこで、浜田支部では、SDGs活動を考えるための第一歩となる前回の説明会を5年12月に開催したのである。

「ワークシヨップは、物流の現場で働くドライバーが、どうすれば自社や業界をより良いものにしていくか」を考え、発言できる場にしたという思いから企画しました。あの日から、SDGsの現場で働くドライバーが、どうすれば自社や業界をより良いものにしていくか」を考え、発言できる場にしたという思いから企画しました。

「同じ志をもった仲間たちが協力し合いながらSDGs実現に向けた具体的な取り組みを進めていくことで、個社のみならず持続可能な社会が実現できる」とも、トラック運送業界の地位向上にも大きく貢献できるのでは、と浜田支部内で先行した取り組みとして進めていき、将来的には島根県全体や日本全体にもこのような動きが広がっていくことで、業界のあり方を大きく変えることができるのではないかと考えています。(同)



行動宣言を行った7社のトラックには、7つの目標を示したステッカーを貼付し、SDGsへの取り組みをアピールしている

7社が参加し「共同SDGs宣言」を策定 輸送事業を通じて持続可能な社会を実現する

浜田支部では、ワークシヨップで出された意見などを踏まえて、「浜田トラックSDGs」共同宣言を策定。6年4月22日には浜田支部において、宣言式を開催し、共同SDGs宣言書と車両用ステッカーを青年経営者協議会浜田支部7社に授与した。共同宣言では、SDGsの17の目標からトラック

- 図 「浜田トラックSDGs」共同SDGs宣言書SDGsへの取り組み
1. 環境と安全 (目標: ③保健・⑦エネルギー・⑩平和)
 - ・安全性能、環境性能に優れた次世代トラックの導入を行っています
 - ・思いやりのある安全運転意識と事故防止運動、飲酒運転撲滅運動など事故をなくすことに取り組んでいます
 2. 雇用 (目標: ③保健・④教育・⑩不平等)
 - ・労働環境に対応した会社ぐるみの健康管理の推進を行っています
 - ・女性ドライバー、高齢者ドライバーなどの活躍を推進し、柔軟な「働き方」を実現しています
 - ・運転技術、輸送技術の向上と研修機会の提供を実施しています
 3. 製品、サービス (目標: ⑨インフラ、産業化、イノベーション・⑯実施手段)
 - ・備車、共同輸送など輸送の効率化を行っています
 - ・Gマーク、健康経営、SDGs、ISOなどがガバナンスの取り組みを行っています

全ト協

この冬は各地で大雪に「雪道対策特設ページ」を活用して万全な備えを!

2月上旬、今シーズン1番の強い寒気の影響で、東北や新潟県、岐阜県の山沿いなどでは大雪となり、車両の立ち往生が発生した場所もありました。全日本トラック協会では、ホームページ内に「雪道対策特設ページ」(二次元コード)を開設し、雪道対策に関する情報提供を行っています。また、同特設ページから、防災情報(気象庁)や道路交通情報(日本道路交通情報センター)を確認することもできます。

全日本トラック協会では、ホームページ内に「雪道対策特設ページ」(二次元コード)を開設し、雪道対策に関する情報提供を行っています。また、同特設ページから、防災情報(気象庁)や道路交通情報(日本道路交通情報センター)を確認することもできます。

2025・2・25

こちらが広報室

▼極寒の地、北海道釧路市で生を受けた友人が現役の頃、仕事の関係で赴任した静岡県沼津市に2年間ほど住むことになりました。友人は沼津を称して「こんなに住みやすい土地は他にない」といつつも、気候も温暖で、海産物が好きで、そして、最高の土地だったのだと、最高に楽しんでいた。しかし、リタイアして終の棲家としたのは生まれ故郷の釧路でした。最近、彼からラインで送られてきたのは、大きなサケを釣りに満面の笑みを浮かべた一枚でした。▼九州の宮崎県小林市から東京に遊びに来た友人と、新潟県湯沢町に行きました。温泉で有名な湯沢町は白銀の世界でしたが、厳しく寒さを忘れてはしゃぐ彼の姿を見て、こちらも童心に戻ったかのような気持ちになりました。宿泊した宿で露天風呂の湯船に浸かりながら、じつと辺りを凝視していた彼は、「自然の懐に包まれて至福の時だ。何とも心地が良い」と吐露していました。翌朝、朝風に入り朝露を食べ、東山に戻りましたが、帰路の上越新幹線車中では、「や」とつぶやき住むには宮崎が最高だ」といつつも、海へ下り、アラスカで生まれ

刻な労働力不足に直面する中で、業界の労働力不足への対応について検討していた。検討の結果、トラック運送業界の地位向上を図る観点から、各会員事業者の企業価値向上に繋がるSDGsの有用性に着目し、取り組みを進めることを決めた。

「ワークシヨップは、物流の現場で働くドライバーが、どうすれば自社や業界をより良いものにしていくか」を考え、発言できる場にしたという思いから企画しました。あの日から、SDGsの現場で働くドライバーが、どうすれば自社や業界をより良いものにしていくか」を考え、発言できる場にしたという思いから企画しました。



6年3月に開催したワークショップでは、7社の代表者とドライバーが参加し、ドライバー目線でSDGsの取り組みを具体化した

全日本トラック協会公式 SNS

全日本トラック協会では、公式 SNS (LINE、X) を開設しており、全ト協会員事業者の皆様方に有益な情報を発信しています。お持ちのスマートフォンやタブレット端末から、下記二次元コードにアクセスし、LINE への友だち追加、X (旧 Twitter) のフォローいただきますよう、なにとぞよろしくお願いたします。

LINE 友だち追加

X (旧Twitter)

【LINE】@774cygun

【X】@JapanTrucking

URL : <https://lin.ee/0zzRS8U>

URL : <https://x.com/JapanTrucking>

※閲覧にはアカウント登録が必要です。